

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	ボランティアの受け入れや地域の住民の方のとくらの家の行事への参加がなく、地域に開かれた施設になりきれていない。	①地域に開かれた施設を目指し、ボランティアの受け入れをおこなう。 ②デイサービス等の移転後、他の事業所とも連携し地域の住民の方の行事参加を検討する。	綾部市社会福祉協議会が実施されている傾聴ボランティアに来ていただく。4月より開始。	6ヶ月
2	4	運営推進会議へのご家族の参加が固定されてきており、ご家族にとくらの家の事を知っていただく機会が作りにくい。	利用者ご家族にもとくらの家の運営に関心を持っていただき、運営推進会議に参加していただけるように働きかける。	運営推進会議の案内をご家族全員に送付し、関心をもつていただく。 運営推進会議議事録を全家族へ送付する。 運営推進会議の日時・場所などご家族の参加しやすい日程を検討する。	6か月
3	10	家族交流会の実施がない	ご家族同士の親睦を深められるよう、家族交流会を企画・実施する。	昨年度同様に9月の敬老会にご家族にも参加していただき、ご家族同士が交流できる場を企画し実施する。	5ヶ月
4	35	とくらの家独自の災害備蓄がない。運営推進委員の避難訓練への参加がない。	災害時にもご利用者の身体・生命・財産をまもれるよう平時から準備を整える。	いこいの村防災・施設管理委員会にはかり、デイサービス移転後の防災計画の策定と、災害備蓄のリストアップ、予算化をすすめる。 運営推進員の避難訓練参加は4月の運営推進会議で報告。10月の避難訓練に向けて検討中。	12ヶ月
5	45	入浴介助を異性介助で行っている。	ご利用者の気持ちに寄り添ったケアの実践のため、入浴介助時に女性利用者への異性介助は行わない。	外部評価後、女性利用者の入浴時の同性介助を実施している。	ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。